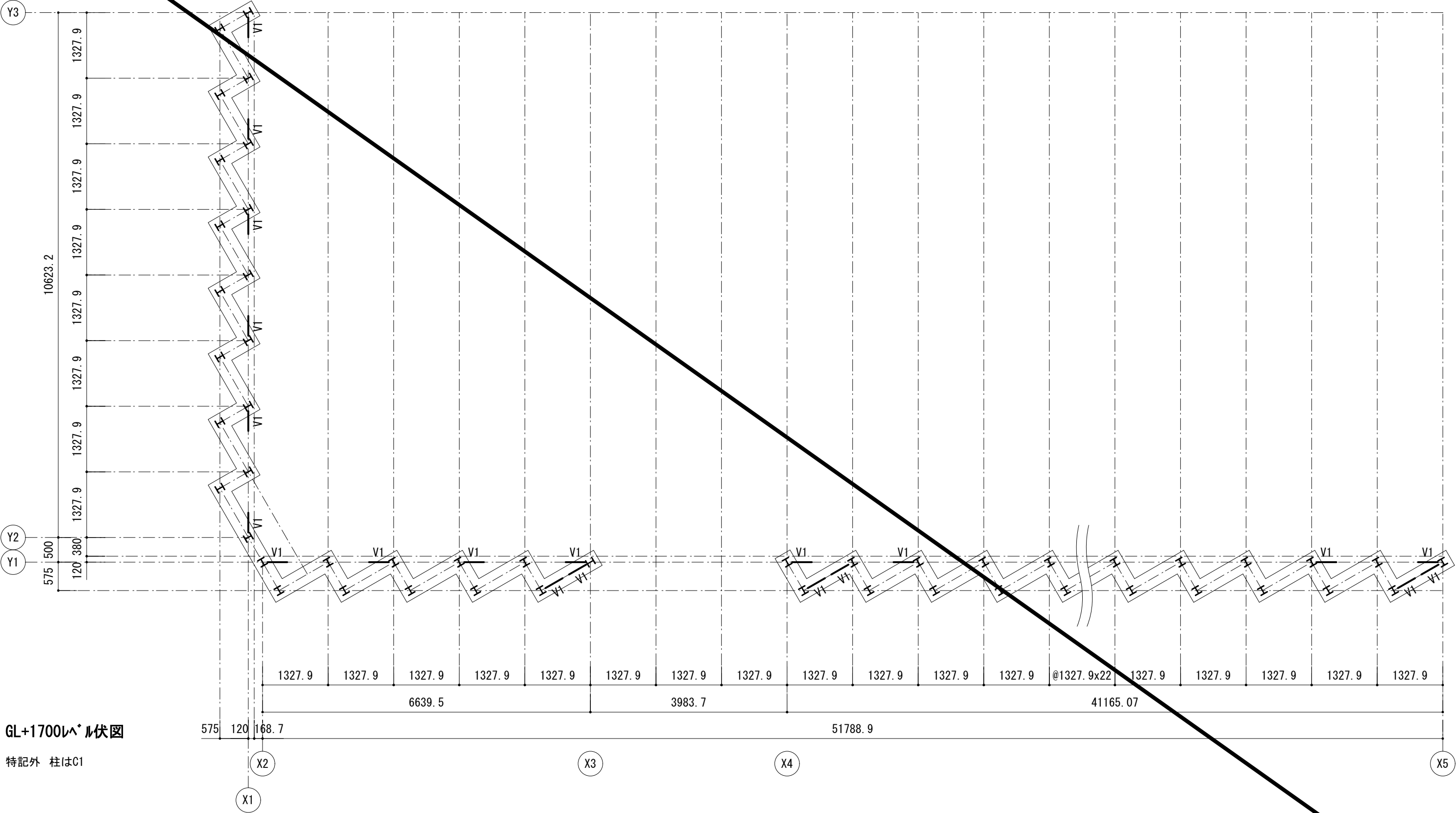
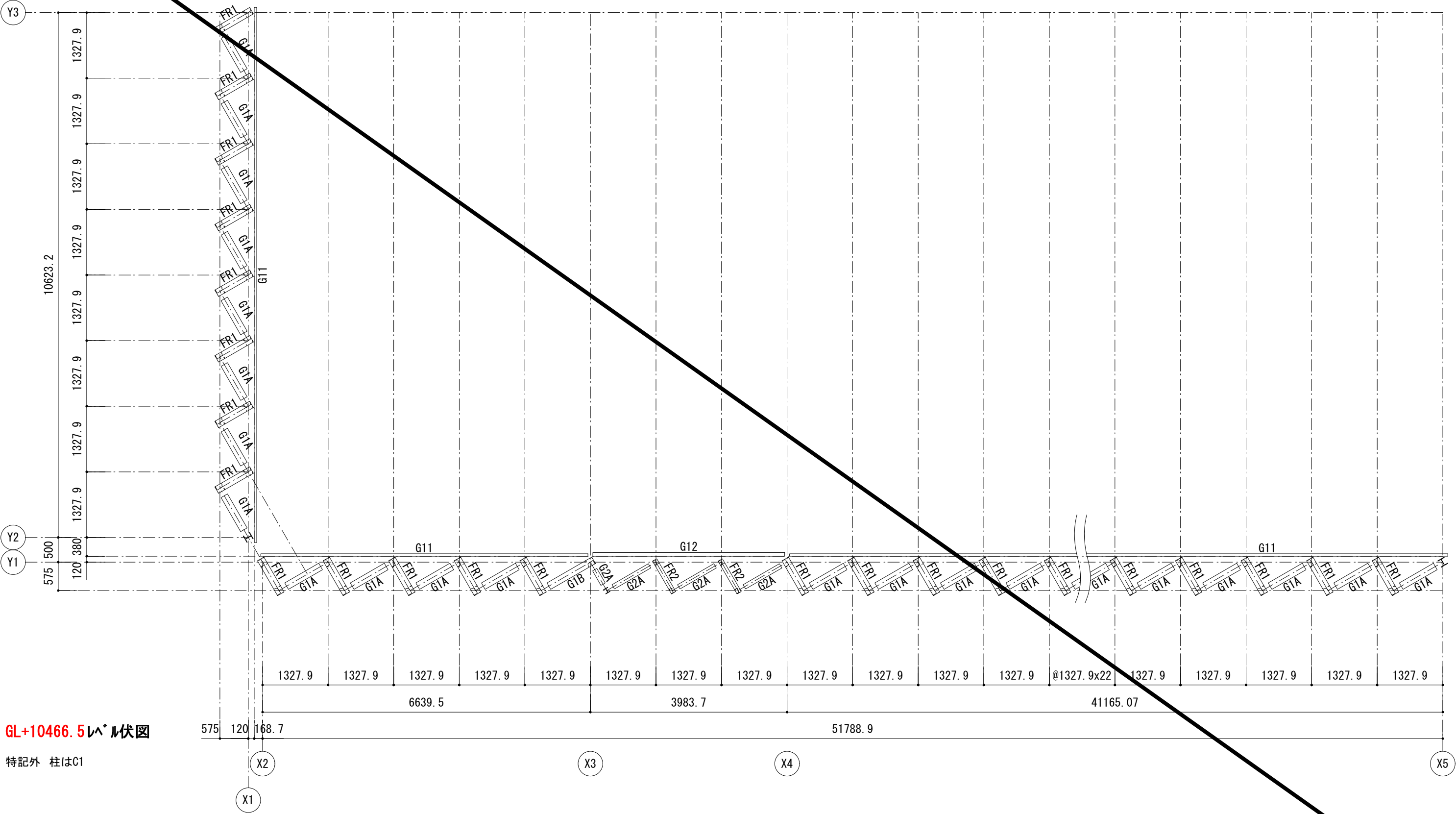




GL+1700レベル伏図

特記外 柱はC1

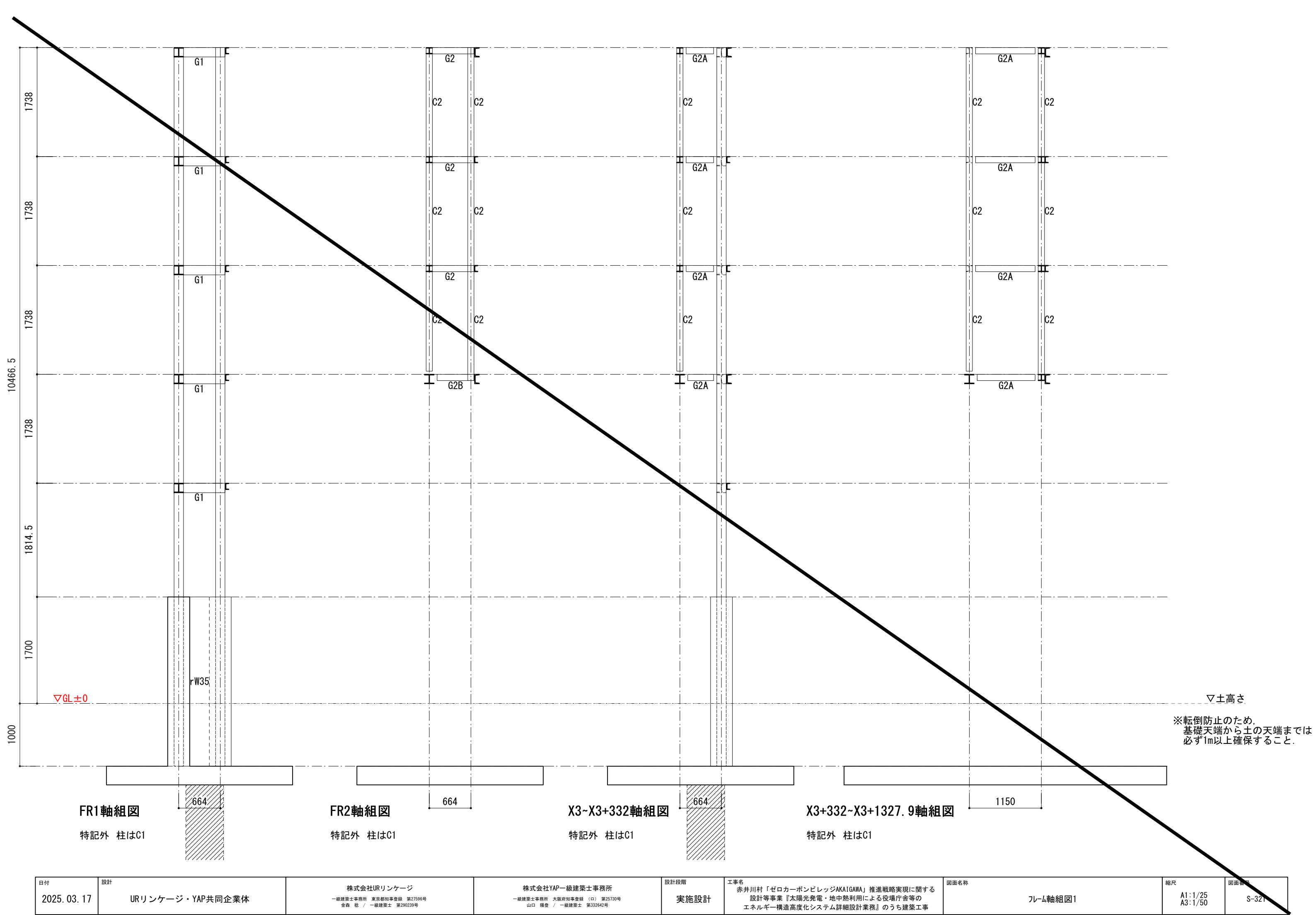
日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	GL+1700レベル伏図	A1:1/37.5 A3:1/75	S-312

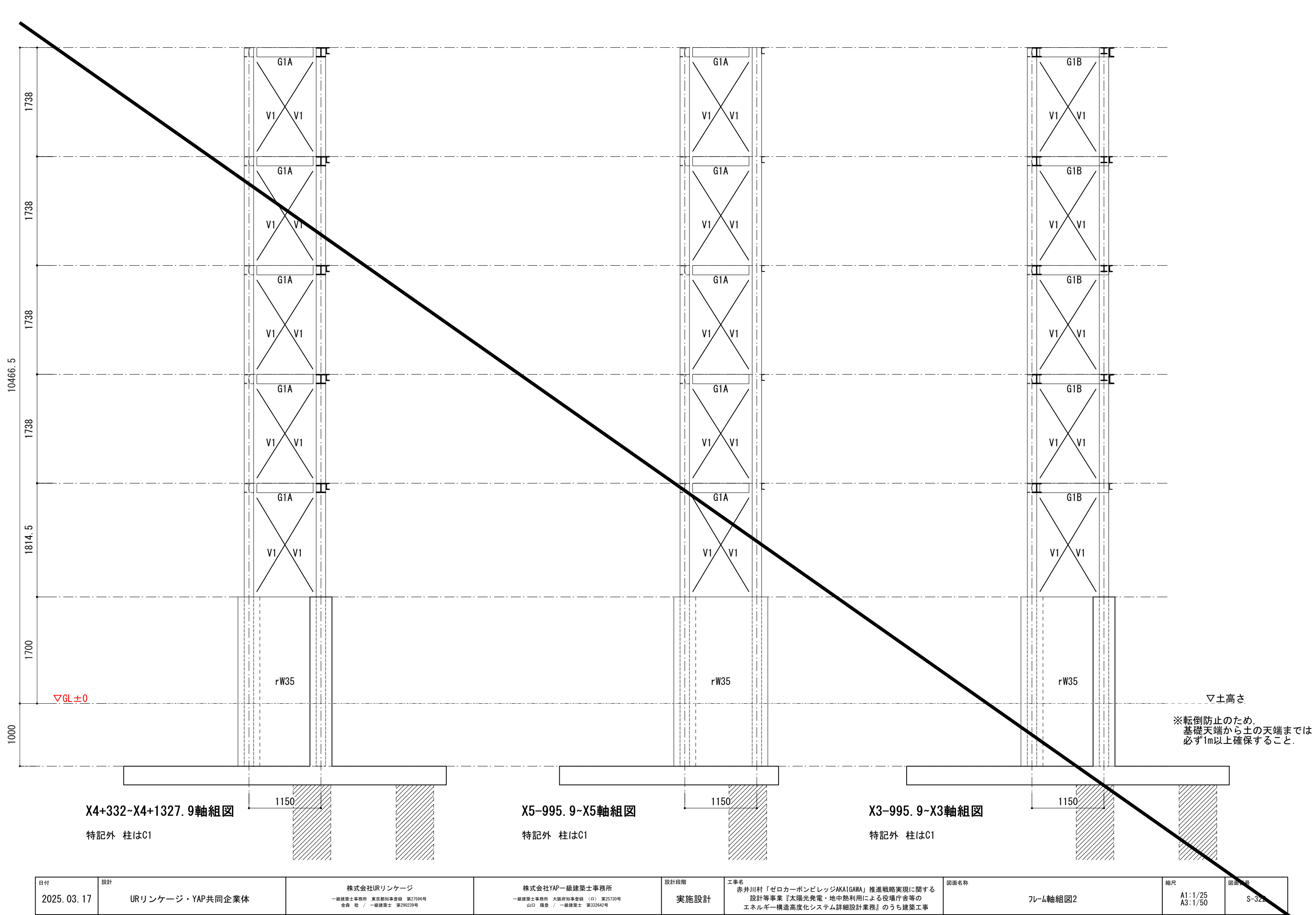


GL+10466.5 べル伏図

特記外 柱はC1

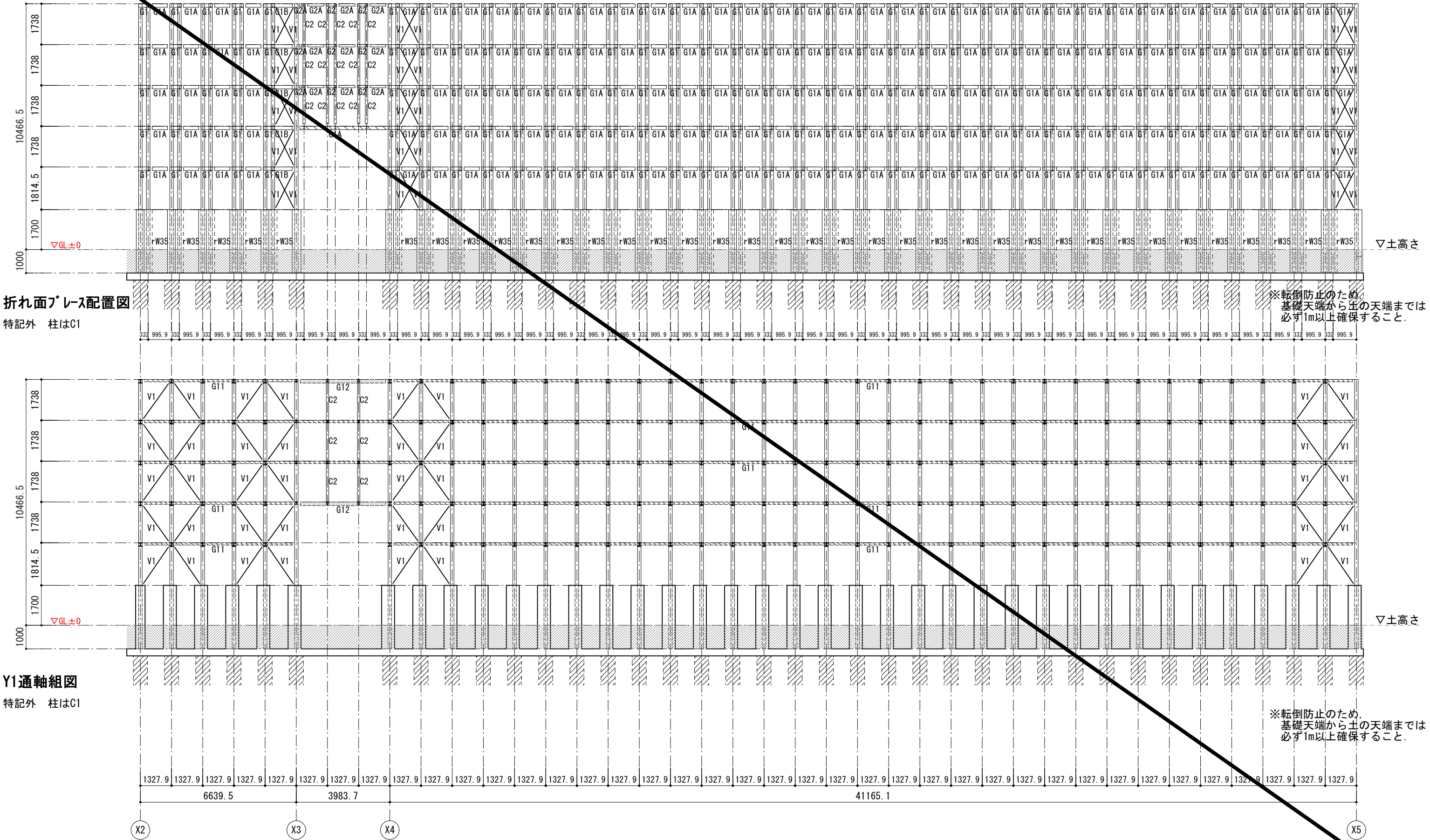
日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (□) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	GL+10466.5いべル伏図	A1:1/37.5 A3:1/75	S-314





日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (ロ) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	フレーム軸組図2	A1:1/25 A3:1/50	S-32



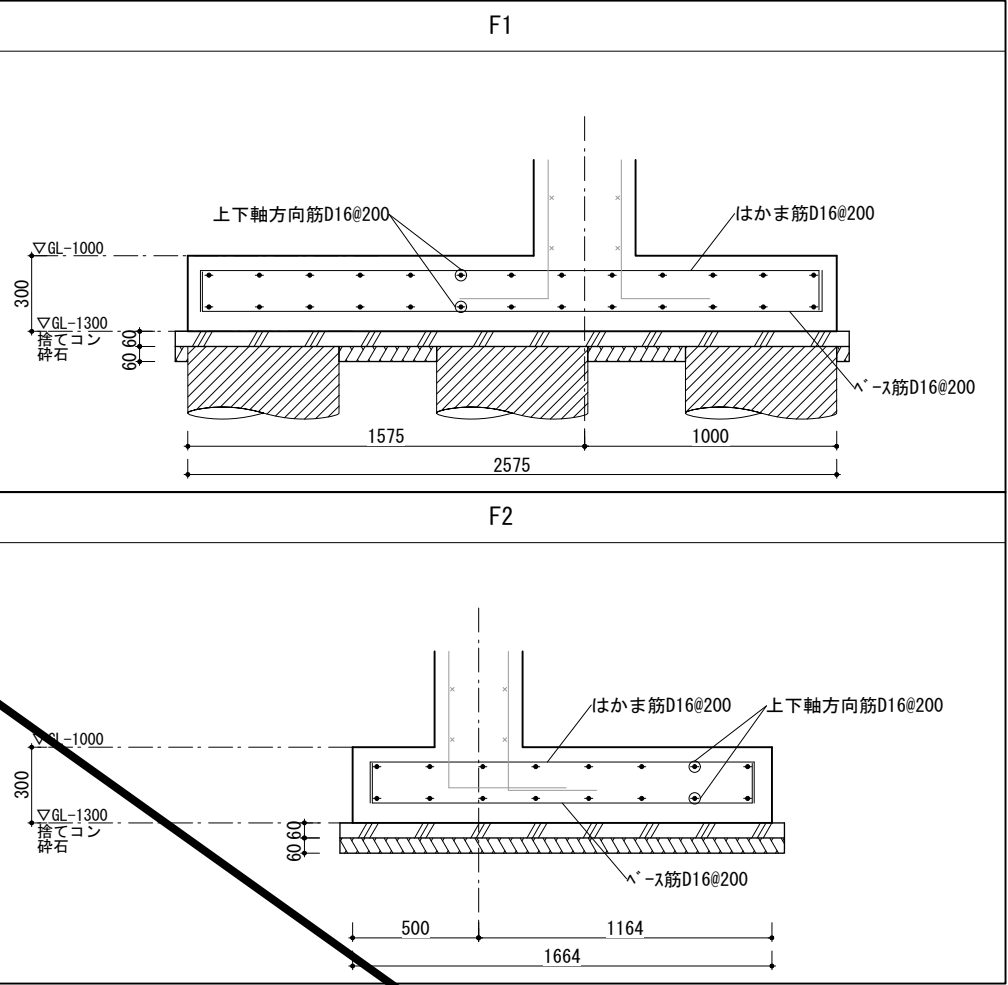


日付	設計	株式会社URリンケージ	株式会社YAP一級建築士事務所	設計段階	工事名	図面名称	縮尺	図面番号
2025. 03. 17	URリンケージ・YAP共同企業体	一級建築士事務所 東京都知事登録 第27596号 金森 稔 / 一級建築士 第290239号	一級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25730号 山口 陽登 / 一級建築士 第332642号	実施設計	赤井川村「ゼロカーボンビレッジAKAIGAWA」推進戦略実現に関する 設計等事業『太陽光発電・地中熱利用による役場庁舎等の エネルギー構造高度化システム詳細設計業務』のうち建築工事	折れ面プレート配置図, Y1通軸組図	A1:1/75 A3:1/150	S-324

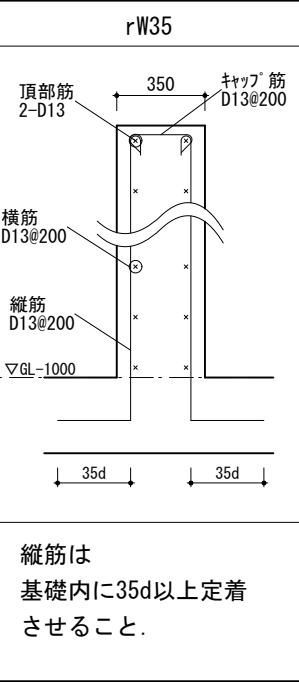
地盤改良リスト

目的	基礎反力に対する地耐力の確保および不同沈下対策の為の地盤補強
工法	セメント系固化材を用いてソイルメントコラムを築造する深層混合処理工法（BCJ評定取得工法または大臣認定工法または監督員が認める同等工法）
地盤調査	既存ボーリング柱状図有り
設計基準強度	800kN/m2
径	600φ
改良範囲	捨てコン下～想定支持地盤レベル（想定深さ=GL-5.5m付近）まで ※ N値14以上の砂層とする。 地盤調査結果に基づく想定支持地盤レベルを示しているが、あくまで目安の数値である。施工時には地盤の実状に応じて、確実に支持地盤に到達するまでを改良長とすること。
品質管理	1:寸法、形状 2:固化材 3:攪拌混合度 4:支持地盤 5:頭部の処理 の施工管理を行う。 「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（日本建築センター）に準拠する。
想定支持地盤の確認方法	実際の施工に際しては、土質的なもの、地層構成的なもの等の確認、かつ、回転機構の負荷変動（トルク値の管理）により、土の硬軟を確認することとする。
基礎底の改良地盤の設計支持力	35kN/m2
改良地盤の強度確認方法	改良体から採取したコアの一軸圧縮試験結果により確認する。
備考	支持層に傾斜があることが想定されるため、深度による管理ではなく、トルク値による管理を徹底すること。 監督員立ち合いのものでの試験杭の施工により、トルク値等の管理基準を決定する。 配合条件の決定にあたっては、原則、室内配合試験を実施すること。 施工者は設計支持力を発現するため、現況に応じた最適な施工計画をし、事前に監督員と協議し承諾を得ること。 改良長が2m以下の部分および柱状改良の施工が難しい部分については浅層改良やラッフルコンクリート等への代替を可とする。 （計画書・検討書を監督員に提出の上、承諾を得ること）

基礎断面リスト S=1/30



立上り壁断面リスト S=1/30

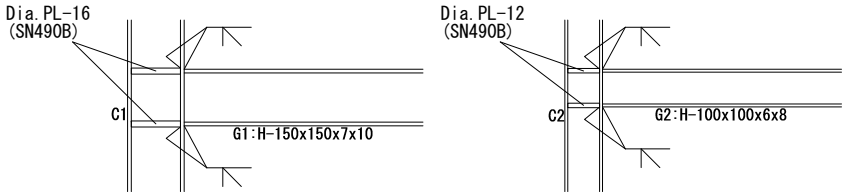


鉄骨部材断面リスト

仕口部はノンスラッグ工法とすること。
柱梁の仕口部では、取り付く梁フランジの厚の2/3以上のダイアムを設けること。
板厚8mm以上の突合溶接部はUT対象とする

符号	部位	断面	材種	継手	端部接合	備考
C1	柱	H-150x150x7x10	SN400B	-	-	埋込み柱脚：詳細は右図参照
C2	柱	H-100x100x6x8	SN400B	-	CP2	
G1	梁	H-150x150x7x10	SN400B	-	-	
G1A	梁	H-150x150x7x10	SN400B	-	JPG1	
G1B	梁	H-150x150x7x10	SN400B	-	JPG1	
G2	梁	H-100x100x6x8	SN400B	-	-	
G2A	梁	H-100x100x6x8	SN400B	-	JPG2	
G2B	梁	H-100x100x6x8	SN400B	-	JPG2	
G11	梁	C-100x50x5x7.5	SS400	JPG11A	JPG11	搬入可能長さに応じてJPG11Aで各部材をつなぐこと。
G12	梁	C-150x75x9x12.5	SS400	-	JPG12	
V1	鉛直ブレース	M16	SNR400B	-	JPV1	

C1-G1, C2-G2接合部詳細図 S=1/20



接合部リスト S=1/20

符号	CP2		JPG1		JPG2		JPG11		JPG12		JPV1	
対象断面	C2, P1: H-100x100x6x8		G1: H-150x150x7x10		G2: H-100x100x6x8		G11: C-100x50x5x7.5		G12: C-150x75x9x12.5		M16	
立面												
	Stiff. PL-9						上図の仕様でC1, G2に @1327.9で接合		上図の仕様でC1, G2に @1327.9で接合		ガセットの有効溶接長は 縦方向+横方向=90mm以上とする。	
	高力ボルト	添板	高力ボルト	添板	高力ボルト	添板	高力ボルト	添板	高力ボルト	添板	高力ボルト	添板
ウェブ	2-M16		3-M16		2-M16		2-M16		2-M16		M16	
備考											JISターンバックル筋かいの 接合部仕様に準ずる	

特記なき高力ボルトはS10T。
特記なき添え板の鋼材種は母材と同等。

継手断面リスト

特記なき高力ボルトはS10T。
特記なき添え板の鋼材種は母材と同等。

符号	JPG11A	
対象断面	G11: C-100x50x5x7.5	
立面		
平面		
	高力ボルト	添板
ウェブ	2-M16	
備考	2PL- 6x70x290	

C1柱脚詳細図 S=1/20

